

“アートのあるまち、南大阪”プロジェクト 富田林駅に全長7mのミューラル（壁画）が登場！

近鉄では、南大阪線、長野線において、アート文化を通してまちの魅力を広める「“アートのあるまち、南大阪”プロジェクト」を進めていますが、今回、富田林駅（南口側）に3m×7mのミューラル（壁画）を制作しました。

ミューラルとは壁をキャンパスに見立てて描くアートで、海外では街を彩る役割として広く認知されています。今回は、壁画やライブペイントなど幅広く活躍されている Yohei Takahashi 氏に、富田林駅が最寄り駅となる富田林寺内町で感じていただいたイメージを塗料で描いていただき、約 1 週間の制作期間を経て 2 月 11 日（日）完成しました。



<ミューラル設置場所（富田林駅南口側）>

【高橋 洋平 / Yohei Takahashi 氏プロフィール】

ペインター

1987年生。東京在住。

壁画、キャンバス作品、ライブペインティングなど平面を中心に制作。

散歩中に出会った場面を主題にして、壁画製作の中で生まれた独自の筆触分割的技法を用いて有機的に描く。



【コメント】

日の出、日の入りの数十分にだけ体験できる、色がどんどん変わってゆく薄明りの時間帯の寺内町の風景を描いています。

時間帯で変化する色の光に照らされた変わらない町の姿を、過去から現代へ移りゆく時間の中で変わらない景色が残る寺内町に重ねて表現しました。

カーブミラーなど現代的モチーフが描かれていることが、この風景が過去ではなく現在であることを表現しています。

■「“アートのあるまち、南大阪”プロジェクト」

取り組みを紹介するWEBサイトを公開中です。

<https://www.wallshare-inc.com/artkintetsu>



“アートのあるまち、南大阪”

プロジェクト QR コード

以上

参 考

【“アートのあるまち、南大阪”プロジェクト】

南大阪線、長野線は、“あべのハルカス”がある大阪阿部野橋駅から南に広がる路線であり、大阪市立美術館やハルカス美術館をはじめとする芸術に触れることができる場所や、大阪芸術大学や大阪美術専門学校など、芸術を学ぶ学生に、多くご利用いただいている路線です。

そのような路線の駅に、特徴的なアートを設置することで、ご利用いただくお客さまに、駅やまちに、さらに愛着をもっていただきたいという思いから、本プロジェクトを開始することとなり、駅の構内にアートギャラリーやミューラルを設置しています。

【取り組み紹介】

ギャラリーの設置

(1)「GALLERYのある駅、針中野」

設置開始 2022年7月27日(水)

設置作品 大阪美術専門学校の生徒作品

就労継続支援B型「ともいきアート工房」に所属するアーティスト作品

(2)「GALLERYのある駅、河堀口」

設置開始 2023年6月23日(金)

設置作品 大阪美術専門学校の生徒作品

(3)「GALLERYのある駅、富田林」

設置開始 2023年10月26日(木)

設置作品 富田林市まちかどミュージアム作品



<GALLERYのある駅、針中野>



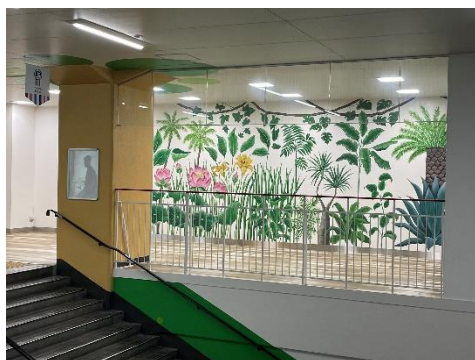
<GALLERYのある駅、富田林>

ミューラルの設置

「MURALのある駅、針中野」

設置開始 2022年9月29日(木)

設置作品 SaoriOhwada氏 長居植物園で感じたイメージ作品



<MURALのある駅、針中野>